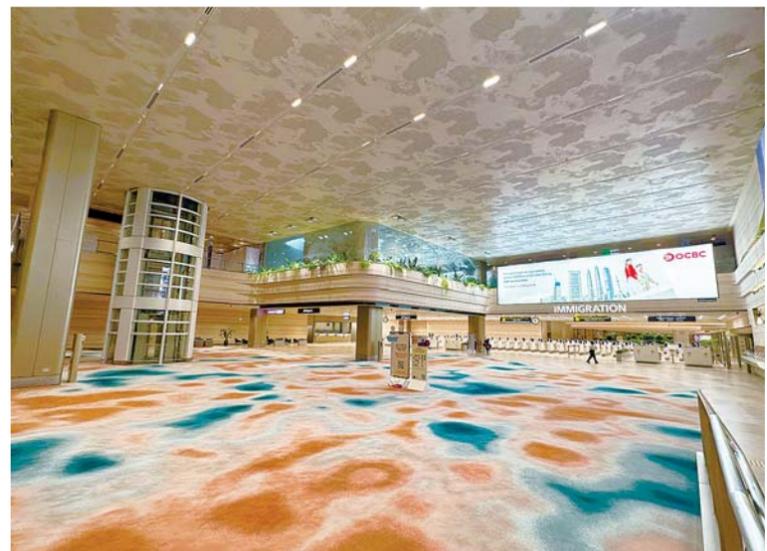


年間利用者数が500万人増



出発ホール



入国審査場



グルメ・ガーデン

シンガポール・チャンギ国際空港ターミナル2増改修工事 竹中工務店

アジア有数のハブ空港をさらに拡充・強化——。「シンガポール・チャンギ国際空港ターミナル2増改修工事」では、既存国際空港の増改修や手荷物自動倉庫の新築などを実施した。施工は竹中工務店が担当。改修後、第2ターミナルの最大利用客数は年間2,300万人から、500万人、20%増の2,800万人に達した。

チャンギ空港はシンガポールの東端に位置し、第1・4ターミナルの四つのターミナルが稼働している。このうち第2ターミナルは1991年に竣工し、2006年に同社が1回目の大規模改修工事を実施した。内装仕上げや預入荷物搬送システムの老朽化に伴い、2回目の大規模改修工事を行うことになった。

改修工事の主な内容は、ターミナル全体の内装仕上げやチェックインカウンターの全面交



到着ホール

コロナ禍でも工期短縮を提案

国際入札には、日系、現地、他国企業を含め7社が参加し、竹中工務店はこれまでの実績なども加味されて受注に至った。同社は74年にシンガポールで事業を始め、24年に50周年を迎えた。特にチャンギ空港関連では、78年に第1ターミナルを手掛けたことから始まり、第1、第2ターミナル、管制塔の大規模改修工事、第4ターミナルの新築工事など、現在まで46年間にわたり大小20以上の工事に携わってきた。

工事期間中はコロナ禍に見舞われたが、万全の感染対策と積極的な工期短縮の提案により、契約工期を2カ月前倒しして49カ月で完成を迎えた。

概要

- ▷実施者＝竹中工務店
- ▷実施国＝シンガポール共和国
- ▷実施都市・地区＝チャンギ地区
- ▷プロジェクト関係者＝チャンギ・エアポート・グループ(発注者/施主)、JHB(内装設計者)、RSP(建築設計者)、JRP(設備設計者)
- ▷実施期間＝2019年11月～23年11月

